

地元の中学生に建設業の仕事の魅力伝える

6月13日、地元の十日町市立南中学校2年生 約60名の皆さんに八箇峠道路で建設を進めている橋梁の現場見学や作業体験を行いました。

生徒らは、実際に現場で使用している橋の接合のためのボルトの締め付けや、鉄筋の結束を体験してもらい、土木の仕事内容やものづくりを楽しく積極的に学んで頂きました。

施工者からは、建設業の仕事や、女性技術者の活躍も紹介され、今回の現場見学で建設業界への魅力や仕事のやりがいなど感じてもらう機会になったと思います。

【計画課】



工事の説明を熱心にメモとる生徒



鉄筋の結束もかなりの腕前の生徒



高力ボルトの締め付け作業を体験

メキシコの留学生が日本の土木技術を学ぶ

6月28日、長岡技術科学大学のメキシコからの留学生ら6名が日本の土木技術を学ぶために八箇峠道路の工事現場を見学しました。この見学会は、留学期間中に効果的な工学教育を行い「日本語のできる指導的技術者の養成」を目指す同大学の「メキシコツイニング・プログラム」に協力して、実施しました。

留学生は、工事の説明を受けるたびに、多くの質問をしながら、日本の高度な技術を学ぼうと熱心に聞いていました。

施工現場が整理整頓されていることや、安全帽や安全チョッキも徹底されていること、少数の作業員で工程管理されていることなどに大変驚いていました。「将来は、日本で技術者として働きたい。」と希望を語ってくれました。

【計画課】



工事の説明を熱心に聞く留学生



スノーシェットの施工状況を映像で説明



日本の技術に興味津々